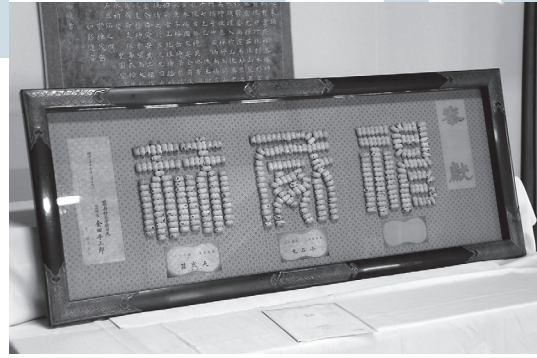




8月29日、荒砥小学校で「荒砥高校をサポートする町民大集会」が行われ、約800人のかたが参加しました。荒砥高校を今後も単独校として存続・支援していくための集会宣言が行われ、小池県議、安達置賜総合支庁長、和田置賜教育事務所長に宣言書が手渡されました。その後行われた、女優の渡辺えりさんの講演の中では、「私も応援したい、皆さんあきらめないことが大事ですよ」と力強いエールをいただきました。

あきらめないことが大事！ 荒砥高校をサポートする町民大集会

あきらめないことが大事！



8月11日、瑞龍院で養蚕文化を伝える繭文字額修復のお披露目が行われ、約100人のかたが参加しました。額は明治36年に寄贈されたもので、穴が開くなど痛みが進んでいたことから、「桜の里づくり推進委員会」が東北芸術工科大学に働きかけて修復が実現しました。文字になっている繭は、当時のものをそのまま生かしたそうで、大変難しい作業だったということです。額は現在、本堂の中に飾られています。

当時のままを再現 繭文字額が見事に復活

当時のままを再現



9月3日、東中学校で全校生を対象に認知症講座が行われました。認知症見守りネットワークのメンバーが2本の寸劇を演じ、認知症のかたへの接し方（良い例と悪い例）を披露しました。その後、吉川記念病院の吉川院長から認知症について講演いただき、老化による物忘れと認知症による物忘れの違いなどについて、分かりやすく丁寧に説明されました。中高生を対象にしたこの講座は、今回で3回目です。

認知症ってなんだろう？ 中学校認知症講座

認知症ってなんだろう？



8月15日、パワーセンターで成人式が行われ、168人の若者が新成人となりました。今年を対象者のうち147人が参加し、恩師や友人との再会を喜ぶ姿が印象的でした。新成人を代表して片倉拓朗さん（蚕桑）が「永遠の平和と繁栄を強く希求します」と誓いのことばを述べました。式典後、文化継承団体「獅伝」のメンバーにより、新成人を祝う獅子舞が披露され、会場を盛り上げてくれました。

大人の心構えしつかり 平成22年度成人式開催

大人の心構えしつかり

農業機械の転落・転倒

転倒事故に注意！

8月29日、針生地区で農作業中のかたがお亡くなりになる事故（運搬車の転落）が発生しました。

毎年、全国で農作業事故によって約400人もの命が失われており、そのうちの約3分の1は農業機械の転落・転倒が原因です。農業機械を操作する際は次の点に注意してください。

- ① 小型機械の転落・転倒
走行時はクラッチを使わず、ハンドルを振って曲がりましょう。
- ② 片ブレーキによる急旋回
作業が終わったら、圃場を出る前にブレーキを連結しましょう。
- ③ 圃場退出時の前輪浮上
作業機を下げて、傾斜に対して直角の向きで退出しましょう。

